



人財力で でもっと強くなる

独立系システムインテグレーター

設立以来25年、「共創」の企業風土を基盤に成長を続ける独立系システムインテグレーター、アイエックス・ナレッジ。人的資本経営による人財力をアクセルとして、全業界に向けた一気通貫のシステム支援が加速する。

今年10月に設立25周年を迎える

独立系システムインテグレーター、アイエックス・ナレッジ（IKI）の成長が著しい。DXによるビジネス変革の流れに乗って順調に業績を伸ばし、M&Aを含む多業種展開や人材強化によるケイパビリティ拡大に拍車がかかる。

もともとIKIの守備範囲は幅広く、金融・証券、情報・通信、産業サービス、社会・公共などの業種を全方位でカバー。安定した顧客基盤をベースとしつつ、昨年には土木建築業に強みを持つシーアンドエーコンピュータを傘下に収めるなど、労働力不足に悩む業界に向けたデジタル支援にも力が入る。

「加えて、IT戦略などのコンサルティング、システム開発、検証、運用・保守の全フェーズをシームレスにつなぐ一気通貫のサービスも大きな強みです」と、同社取締役の中谷彰宏氏は胸を張る。「もっと言えば、特

定の企業や業種に依存しない独立系であるがゆえの柔軟な意思決定と機動力にも優位性があります」

そうしたバランスの取れた企業力は1999年、日本ナレッジインダストリとアイエックスの統合による同社の誕生そのものに源泉があり、2社の得意分野とマーケットが絶妙に融け合いながら共存してきた歴史に由来するものだという。

「四半世紀を経る中で、その共創の精神は企業文化として根つき、お客様に対しては共に技術を高め合う信頼関係に、社内においては多様性をよとする気風や風通しのよい職場環境となって実を結びました」

この環境を生かして今、同社が取り組んでいるのが人的資本経営だ。中期経営計画では人財戦略アクションプランの3本柱を公表。①AWS、Azureなどの認定資格取得を含むプロフェッショナル人財の育成とリスクリング、②積極的な女性の新規

採用や管理職登用からも覗える、女性活躍推進や外国人材活用などのダイバーシティ&インクルージョン、③働き方改革推進委員会の活動に代表される職場環境の改善や、コミュニケーション機会の創出を通じてエンゲージメントの向上である。

「健康経営にも積極的で、健康優良企業『金の認定』は3年前に取り得ました。社員一人ひとりがいきいきと活躍し、成長できる環境がある。実は、それが当社が一番の強み。人財力こそが、成長エンジンです」



代表取締役専務執行役員
中谷彰宏 Akihiro Nakaya

